

Kei Hasegawa

Solo Exhibition

2026.3/13 - 5/10

エコーズ
echoes;



長谷川
絢

きみもどき こ
君 抵 梧 (栝)
Looks Like You (You)

2022
黒竹、藤
Bamboo(Kurochiku), rattan
137x70x60cm

Photo by Takashi Kubo, Courtesy of wamono art

- 会 場 「竹田市歴史文化館・由学館」市民ギャラリー
〒878-0013 大分県竹田市大字竹田 2083 番地
- 開館時間 9:00 - 17:00 ※最終入場は16:30まで
- 休 館 日 毎週 木曜日
- 観 覧 料 無料 (本展覧会以外では観覧料がかかる展示室もございます)

- 主 催 竹田市・竹田市教育委員会
- 特別協力 大分県立美術館、大分市美術館
大分合同新聞社、
OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、
エフエム大分、J:COM 大分ケーブルテレコム

- お問合せ 竹田市歴史文化館・由学館
TEL 0974-63-2200 (9:00-17:00)



竹田市歴史文化館・由学館
Taketa History and Culture Museum



Kei Hasegawa

Solo Exhibition

2026.3/13 - 5/10

エコーズ echoes;

本展では、竹田を拠点として活動する美術家 ^{はせがわ けい}長谷川 絢による、竹を素材とした彫刻作品をご紹介します。
長谷川は、「思考と竹を編むことは、プロセスがよく似ている」と捉え、竹を編む行為を手がかりに、日常にひそむ小さな心のざわめきと向き合い、自分なりの答えを探す制作を続けてきました。会場では、竹田で制作された近作を中心に、新作を含む約10点を展示いたします。竹田で過ごす日々の中で、何にざわめき、どのような echoes を見てきたのか。思考と竹はどのように形を変えたのか。その制作背景と共に、ぜひお楽しみください。

keihasegawa_



yugakkan_taketa



《Echoes》2025年(部分),
Photo by Takashi Kubo



《Devour》2021年(部分),
Photo by Kazuhiro Nishimura



《Devour シリーズのための映像》2024年(部分),
Installation view of PICKUP ARTIST VOL.13
CHRONOMORPHE, ART PLAZA, Photo by Takashi Kubo

※掲載写真と実際の展示内容は異なる場合があります

長谷川 絢 (Kei Hasegawa)

1986年 神奈川県生まれ。美術家。2009年 京都伝統工芸大学校修了後、ベネズエラで竹の加工技術指導に携わる。2014年より竹田市に拠点を移し、制作活動を本格化。2017年「改組 新第4回日本美術展覧会」に新入選。2018年「ジャポニズムの150年史」展(パリ 装飾美術館)、2023年「跳躍するつくり手たち」展(京都市京セラ美術館)などに出演。2024年より大分市美術館「MEET BAMBOO PROJECT OITA JAPAN」に参加。国内外で作品を発表している。

- 由学館ミュージアムショップにて、長谷川絢監修のアイテムも販売いたします -

Museum Shop News



◎本展を機に制作した
由学館オリジナルグッズ



◎長谷川絢 プロデュース
「まじりて」竹のアイテム

Special Information

会期中、ご来場の記念品を進呈しております！

※お1人様1つ限り ※なくなり次第終了

- ◎ 3月：竹100%のトイレットペーパー「BambooRoll」*本展限定パッケージ
- ◎ 4-5月：本展図録